



◆八木山地区小地域福祉ネットワーク研修会(令和6年7月25日)

障害に関するサポート施設が地域に多数存在することは知っているものの、障害に関してどの程度の知識があるのだろうか？、私たちが役立つことが出来るのであろうか？という疑問があり、地域福祉の観点から研修会を開催した。

■1部では障害者相談支援事業所「サポートはぎ」の職員の方による「この地域の仲間(障害のある方)について知ろう」と題して、障害についての基礎知識を教えていただいた。

障害の分類やその特徴、関わりのポイント、サポート事業所など……。

■令和6年度より、改正障害者差別解消法が施行され、民間事業者においても「合理的配慮」が法的義務化されました。

「合理的配慮」とは、障害者などの特定の条件を持つ人々が、社会生活を営む上での障壁を取り除き、公平な環境での参加を保障するための措置を指します。

例えば、車椅子を使用している人が公共の場所にアクセスする際、段差や階段などの物理的な障壁を乗り越えるのは困難です。そのような場面で、スロープやエレベーターを設置することは合理的配慮の一例と言えます。

また、視覚障害を持つ人にとって、情報の取得は文字情報だけでは困難です。そのため音声ガイドや点字情報の提供も合理的配慮となります。

「合理的配慮」は、負担が重すぎない範囲で必要かつ合理的な対応を行うことを指します。

障害の種類とサポート体制

知的障がい	発達障がい
精神障がい	身体障がい

八木山におけるサポート事業所

- ・放課後ディサービスpoppy(松が丘)
- ・萩の郷福祉工場(鉤取御堂平)
- ・希望の星(松が丘)
- ・八木山つどいの家(八木山本町1丁目)
- ・アースサポート仙台八木山(居宅介護)
- ・セントケア八木山(居宅介護)
- ・グループホーム 多数

太白区の障害に関する相談窓口(仙台市より委託)

向日葵ライフサポートセンター	袋原 022-741-2880
サポートはぎ	大野田 022-302-7460
ハンズ太白	長町南 022-308-8834

研修会風景



■2部では、太白区社協のCSW(コミュニティソーシャルワーカー)の進行で、地域福祉で日ごろの活動で思っていることや、障害者の関わり方などの疑問について、グループワークで色んな意見を出し合った。今後の福祉活動の参考になると思われる。

八木山みんなのカフェ
 ことはじめ



平成30年度に地域の多世代交流拠点(場)としての「サロン」開設のアイデアを煮詰め、令和元年度より、名称を「八木山みんなのカフェ」と称して、開催しております。

令和6年度は親子で楽しめるものも計画

4月	タケノコ狩り
7月	親子でポッチャ
8月	動物園のお話し
9月	スマホ交流会
11月以降	・モルック大会 ・みんなで凧作り など

市民センターだよりでお知らせしていますので、参加申し込みをお願いします。
 楽しい時間をご一緒しましょう。

認知症特集第2弾

前の社協だより45号(令和6年3月発行)で「認知症特集」を組みました。色んな意味で蒙を啓かせていただきました。今回は、認知症特異の行動である「徘徊」について考えてみたいと思います。



■徘徊とは言わないで！▶「ひとり歩き」「外出中に道に迷う」・・・

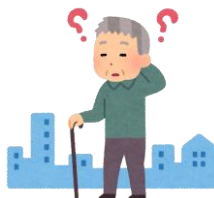
徘徊の背景には理由があるようです。認知症による徘徊は、周りから見ると当てもなく歩き回っているように見えるかもしれませんが、背景には本人なりの理由が隠れているものです。

例えば、子供の頃に住んでいた家に帰ろうと思い、歩いているうちに道がわからなくなり、そのうち目的も忘れて歩き続けてしまうということがあります。この場合は、「家に帰ろう」という気持ちが徘徊のきっかけであると、周囲が理解することが大切です。

認知症の本人目線では、「自宅に帰らなくちゃいけない」「仕事に行かなきゃいけない」と思い、歩いているのです。ただ、どこをどう行けば目的地にたどり着けるのかを正しく認識できていないため、間違った方向に歩いているだけなのです。

そう考えると、認知症高齢者は「あてもなく」歩いているわけではないのです。

しかし、「徘徊」という言葉で行動を表現する限り、認知症の人は困った人たちという深層心理から抜け出せず、本人の視点や尊厳を大切にすることができません



■かつては「認知症」も「痴呆」という言葉で呼ばれていましたが、差別的な表現であることから、認知症という言葉に改められた経緯があります。**言葉には本人の尊厳を傷つける可能性があります。**

■そこで、多くの自治体では「ひとり歩き」「外出中に道に迷う」などの表現を用いています。他にも「散歩」と表現する自治体や、徘徊という漢字の表現をやめて「はいかい」という言葉にしている自治体などもあり、表現に苦労しているのが実態です。

仙台市 認知症の人の見守りネットワーク事業

仙台市では、認知症のご本人やそのご家族が安心して暮らすことのできる地域づくりを推進することを目的として、「認知症の人の見守りネットワーク事業」を実施しています。皆さん、QRコードから登録して出来る範囲での協力をしましょう。



令和6年度 八木山地区社会福祉協議会会費納入状況

(単位:円)

町内会	普通会費	特別賛助会費	合計
青葉苑	33,600	1,000	34,600
青山	19,200		19,200
青山第一	41,100	15,000	56,100
青山二丁目	51,000	2,000	53,000
青山恵	44,100		44,100
恵和町	84,000	2,000	86,000
桜木町	122,100	10,000	132,100
さつき	11,100	2,000	13,100
松が丘	130,200	3,000	133,200
みつば	12,300		12,300
八木山八光台	40,500		40,500
八木山東	65,400		65,400
八木山本町第一	154,200	1,000	155,200
八木山本町二丁目	150,000		150,000
緑花	51,000	5,000	56,000
八木山団地緑風会	11,700		11,700
若葉苑	23,700		23,700
八木山民児協		22,000	22,000
合計	1,045,200	63,000	1,108,200

ご協力ありがとうございました

～編集後記～

海を渡る蝶、アサギマダラをご存じでしょうか。

春は沖縄から北海道へ、秋は北海道から沖縄へ、移動距離が2,000kmを越える個体もあるそうです。アゲハと同じくらいの大サイズの蝶がそんな長旅をするというのです。アサギマダラは秋の七草の一つ、フジバカマを好むそうで、仙台でもこの時期、フジバカマの咲くところで旅の疲れを癒やすかのような姿を目にすることができるのだそうです。

強さを秘めたアサギマダラに出会ってみたいです。

(連絡先)大野貴子

